



9月 町屋幼稚園だより

令和8年9月1日
荒川区立町屋幼稚園
園長 浪江 泰弘

みんながいるから、もっと楽しい！

園長 浪江 泰弘

長かった夏休みが明け、園内に子どもたちの元気な声が戻ってきました。日焼けした顔、少し背が伸びた後ろ姿、そして、どこかたくましくなった表情に、この夏の豊かな経験がうかがえます。ご家庭でのあたたかい見守りとご協力に、心より感謝申し上げます。

園生活が後半戦に入り、子どもたちの「友達関係」もより深く、豊かなものへと変化してくる時期です。

一人でできることが増える一方で、「お友達と一緒に作るともっと楽しい！」「困っているから手伝ってあげよう」という、協調性や思いやりの心が芽生えていきます。時には、意見がぶつかることもあります。それも大切な成長のステップです。

友達と関わる中での小さな感動や葛藤を温かく見守り、友達と過ごす喜びを実感できるよう導いてまいります。

《今月のねらい》

- 【年 長】 ○ いろいろな運動遊びに興味をもって取り組み、友達と力を合わせたり競い合ったりしながら体を動かす心地よさを感じる。
○ みんなでする活動を楽しみ、友達とのつながりを感じる。



夏休みのあいの町の町屋幼稚園ニュース♪

今年の夏もとても暑い日が続きました。プランターや花壇に種をまいたアサガオやヒマワリは、太陽の日差しに嬉しそうに花を咲かせていました。

施設開放には修了児のみなさんも遊びに来てくれました。夏祭りであるか組の子どもたちが楽しんで作り上げた「くるくるくるまめいろ」や「かわいいあいすやさん」を見て、「すごいね！」「おもしろかった！」と声を掛けてもらいました。主事さんが保育室の床にワックスをかけてぴかぴかにしてくれました。2学期も元気いっぱい遊びましょうね！



種から育てているアサガオやポップコーンが生長しました。



施設開放では修了児のみなさんにも夏祭りのお店を見てももらいました。



プールで思い切り水遊び。

町屋幼稚園の歴史探訪 ④

平成20年(2008年)、保護者や地域の要望に応え3歳児保育が始まりました。年少たんぽぽ組、年中もも組、年長ゆり組・すみれ組の3学年での生活がスタートしました。年少組の人数が多く、2か所に場所を分けて保育をしていたそうです。平成22年には創立60周年を迎えました。現在も掲示板の横にある「まちやようちえん」の看板は当時の全園児で描いたものです。平成24年度から学級名が花の名前から現在もおなじみの「年中うさぎ組」「年長いるか組」になりました。年少組は「たんぽぽ組」でしたが、平成25年度から「ひよこ組」となりました。2学級編成のときは、年中組「こあら組」・年長組「ぼんだ組」があった年もあります。



創立60周年
記念式典の様子